

第3回 服薬教室

3

向精神薬について知る

◇進め方

1. 挨拶（気分と体調の確認）
2. 宿題の確認
3. 服薬教室の目標とこれまでの学習内容の確認
4. 前回の復習
5. 今日の内容の紹介
6. ビデオ視聴
7. 質疑応答
8. ロールプレイ
9. 質問がないか確かめる
10. 宿題設定と次回の予定確認

◇挨拶・体調確認

<挨拶をかわし、前回の訪問以降の出来事をたずね、気分と体調の変化を確認します。>

〇〇さん、こんにちは。

前回の訪問以降、何か困ったことはありませんか？

気分や体調はいかがですか？

◇宿題（チェック表）の確認

<チェック表を確認し、努力をほめて継続を促します。>

〇〇さん、服薬症状チェック表は記入しましたか？

毎日きちんと薬をのんで、具合もよいようですね。

上手に記入できています。引き続き記入してくださいね。

◇服薬教室の目標とこれまでの学習内容の確認

<服薬教室の目標確認をして、学習の意欲を高めます。>

<将来の夢（目標）と関連付けることも有効です。>

服薬教室の目標は何であったか覚えていますか？

服薬教室の目標を達成することは、〇〇さんの目標の達成に役立ちますか？

<次に、これまでの学習内容の理解度を確認します。ビデオは観ずに質問します。時間がない時は☆印のみでも結構です。>

(例) 今までの復習をしますね。第1回の内容ですが、目標を達成することで得られるメリットにはどんなことがあったか、覚えていますか？

◇前回の復習

<ワークブックの『第2回服薬教室』を開くように促します>

それでは、前回の復習をしましょう。前は、薬の基本的な知識を学びました。前回のビデオを観て、また質問をしますので、注意して観てください。

<タブレットで『第2回服薬教室ビデオ』を視聴します。>

<『第2回服薬教室』の質問を一通りします。時間がない時は☆印だけでもよいです。>

<解答につまったら、タブレットで『第2回服薬教室（回答付き）』を示します。>

何か質問はありませんか？

◇今日の内容の紹介

今日の服薬教室では、『精神科の薬の特徴』について学びますので、ワークブックを開いてください。

<ワークブックの『第3回服薬教室』を開くように促します。>

〇〇さんは薬を飲むのを急にやめてしまったらどうなるかご存知ですか？

<薬についての知識の程度を把握します。>

それでは、『精神科の薬の特徴』について説明するビデオを観てみましょう。

観終わったあとで、ここにあるような質問をしますので、注意して観てください。

<ワークブックの『第3回服薬教室』を示します>

◇ビデオ視聴

<タブレットで、『第3回服薬教室ビデオ』を観ます。>

<理解を確かめながら、繰り返し観るのもよいでしょう。>

◇質疑応答

いかがですか。もう一度ビデオを観ますか？

では、先ほど示した質問をしますが、よろしいですか？

Q1. 調子が良いのに薬を飲み続けるのはなぜでしょうか？

(調子のよい状態を保つため。)

Q2. 薬を飲むのをやめたらどうなるのでしょうか？

(以前あった症状と同じ症状がまたあらわれる。)

Q3. 今みなさんが飲んでいる薬と、怪我をして化膿したときなどに飲む抗生剤などとはどこが違うのでしょうか？

(抗生物質は症状の原因を治す働きがある。精神科の薬は症状を抑えるが原因までは治せない。)

<「〇〇さんは症状が改善してどんなメリットがありましたか？」など、症状が改善することで、生活の質(QOL)が向上することを確認するとよいでしょう。>

Q4. 薬は長い間体の中にとどまっていますか？

(排泄されるためとどまっていない。だから規則正しく飲むことが大切。)

<答えに詰まった時は、タブレットで『第3回服薬教室(回答付き)』を示します。>

◇ロールプレイ

<今回の内容について、ロールプレイをします。役割交換をして、スタッフが薬を飲んでいる患者役に、利用者が薬の専門家役になります。>

ではこれからロールプレイをします。ロールプレイで練習することは、『精神科の薬の特徴』について知り、今後〇〇さんが、薬を飲んだり、服薬を管理したりする際に役立つものです。二人でやってみましょう。

<場面設定>

ここを、病院の相談室としましょう。患者さんが『精神科の薬の特徴』について、薬の専門家に聞いている場面です。

<役割設定>

〇〇さんは、『精神科の薬の特徴』について説明する薬の専門家になってください。私は専門家に質問する患者さんの役をします。

<目的把握>

患者役の私が質問しますから、「薬を飲み続ける理由」について説明してくださいね。

<ロールプレイ>

では、始めましょう。

「先生、質問があるんですが、いいですか？ 私は今とても調子が良いのですが、薬を飲み続けなければいけないのは何故ですか？」

(調子の良い状態を保つためです。)

<時間があれば、Q2～Q4も行います。>

<手をたたき、一拍おいて>はい、ありがとうございます。

<正のフィードバック>

〇〇さんの説明は、要点をつかんで、はっきり説明できていたので、とてもよくわかりました。

<良かった所を具体的に挙げてほめてください。>

◇質問がないか尋ねる

今日の内容について何か質問はありませんか？

<質問に答え、必要があればビデオを観なおします。>

今日学んだ内容のまとめです。ワークブックと一緒に保管しておいてください。

<ワークブックの『第3回服薬教室（回答付き）』を渡します。>

◇宿題の設定と次回の予定確認

今日の服薬教室はこれで終了です。

明日以降もチェック表を毎日記入して、次回の訪問の時にみせてください。

次回の予定は、___日の___時からです。